

会 議 録

会 議 の 名 称	朝霞市立朝霞第六小学校第3回学校運営協議会	
開 催 日 時	令和5年6月30日(金) 午前 9時00分から 午前10時40分まで	
開 催 場 所	朝霞市立朝霞第六小学校家庭科室	
出 席 者	学校運営委員8名、事務局3名(教頭2名、主幹教諭)	
会 議 内 容	1 開会のことば 2 学校運営協議会 委員長挨拶 3 学校長挨拶 4 協議 (1) 学校評価の内容について (2) 学校の現状と今後の課題について (3) その他 5 閉会の言葉	
会 議 資 料	・会議次第 ・学校評価原案	
会 議 録 の 作 成 方 針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管(保存年限 年)	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後○か月
会議録の確認方法 委員長による確認		
そ の 他 の 必 要 事 項	傍聴者 0人	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 開会のことば（教頭）

2 学校運営協議会 委員長挨拶

- ・熱中症対策について水筒利用しやすい環境づくりをつくるような、子供に寄り添った六小を皆さんと作りたい。

3 学校長挨拶

・埼玉大学河野准教授および朝霞市教育委員会指導主事が来校し、本校斎藤教諭の授業を視察した。バレーボールに触れる機会が少ないが本物の学びをさせるための良い授業研究ができた。教職員も自発的に授業参観し、よい取組を共有した。

・ウェルビーイングは児童の自己肯定感が重要で、包括的な幸福感が必要である。地域の協力が必要である。『共創』がキーワードである。メイあさかとの協力、神原教諭企画書作成、2年生地域との学習、地域での学びを学校朝会等で発信、共有化。多くの学びに保護者の方々が協力していただいている。

委員：スライドを活用しての説明が分かりやすい。学校の取組と目指す方向をもっと保護者に広める機会をもった方が、思いが伝わるのではないか。

委員：地域発の活動でも『共創』が広がっている。多様な学びがある。

4 協議

（1）学校評価の内容について

事務局…令和5年度版学校評価案について説明。評価項目の追加と評価対象の参考例の欄の追加について説明。

委員：学校評価はどこまでの評価を行うか。また、どう生かしていくのか。

校長：いただいた意見を基に次年度の学校経営方針に活かすために行っている。

今年はいかに児童と保護者との乖離をどうなくすかを目標にしている。

委員：学校評価は、項目だけ見てもどう評価したらよいかわからない場合もある。見る視点を参考として示してもらえるとわかりやすい。

委員：見やすい、分かりやすい、判断しやすいものがよいのではないか。

委員：事前に評価項目を保護者に周知し、その視点で学校の教育活動を見てもらうのはどうか。その上での評価なら、しやすいのではないか。

（2）学校の現状と今後の課題について

事務局…学校が対応に苦慮している最近の事案（放課後の児童トラブルに関する学校への連絡および匿名での対応依頼）について報告。地域の大人の関わりの稀薄化について。

委員：学校の責任の所在はどこまであるのか。

事務局…県の方針としては登下校は範囲外、放課後も範囲外だが教育活動は連続しているので、報告があれば学校が対応している。

校長：保健関連でいえば登下校中は学校の管理課である。

委員：地域の人が子どもにどう接していくか。学校の子ども、地域の子ども、ボランティアの活動をもっと知らせてもいいのではないか。情報の開示の仕方を工夫していく必要がある。

委員：例えば学校応援団に呼びかけ、腕章を配付し公園見回りすることも案としてある。抑止になるのでは。

委員：地域の希薄性が見られる。

委員：放課後の公園などでのトラブル報告を学校が受けても、管轄外なので行かないという判断はあるのか。

委員：匿名での学校への対応依頼は、名前を明らかにして注意するなどすることは仕返しなど、トラブルに巻き込まれることが怖いからではないか。公園の管理は市で行うことなどを市に依頼していくこともひとつようなのではないか。

委員：怒られたり、ケンカしたりすることが必ずしも悪いことだろうか。子供にとって成長過程として必要なのではないか。

委員：保護者や地域は放課後のトラブルが多い事を知らないのではないか。そういう情報も発信していいのではないか。

校長：懇談会の中でも触れていく。

委員：問題解決のみならシャットダウンすればよいが、必ずしもそれがよいとは思わない。子ども同士のトラブルも成長の課程の一つ。

委員：一般的な仕事はだれが何をやるのか、責任の所在がはっきりしていることが多い。学校は線引きが難しいが結果的に必要。

委員：良かれと思って子供に声掛けしても不審者として見られることも心配される。地域とのかかわりと安全教育との判断が難しい。

委員：朝霞市の学校全体で放課後の対応を統一した方がよい。

委員：トラブルの内容事態は昔と変わらない。児童を良い方向に向けるための生徒指導などで六小としては何ができるか。学年で目標を作って取り組ませるなど（縄跳び等）でエネルギーの発散方法を与えてはどうか。

(3) その他

事務局より

・ゲストティーチャーフォームへの登録状況について

予想を超える特技を持った方が登録していただいている。教育課程にどう位置付け活躍してもらおうかを考えていたが、登録していただいた方の得意分野から教育活動が広がるという視点にも気づいた。

・新登校順路について

動画配信、手紙発出予定である。保護者が校舎に入る場合（駐輪場）、休み中児童が学校で遊ぶ場合について周知

- ・草刈り機の購入について学校運営協議会の予算内で購入を検討したい。
除草作業を計画することを今後考える可能性もある。

6 閉会のことば

- ・次回の運営委員会の開催は10月9：00からで日程を検討
- ・第5回学区運営協議会は12月9：00からで検討